

平成26年3月15日
(公社) 日本フェンシング協会
選手強化本部

第17回アジア競技 (2014/KOREA・Incheon) 大会 日本代表選手選考方針及び基準

1. 日本選手団 編成方針

- 1) 2016年、2020年オリンピック競技大会でメダル獲得並びに十分な活躍が期待される選手、将来有望な選手の中から編成する。
- 2) 礼儀と規律を遵守し、フェンシング日本代表としてふさわしく、かつ参加各国との友好と親善に寄与できる・選手・役員をもって編成する。
- 3) アジア競技大会は、FIEランキングポイントの対象外ではあるが、派遣形態がオリンピック同様、全競技をJOCが派遣する大会である。また、選手村生活等も含め2016年・2020年オリンピックに向けたリハーサル大会としては重要な経験となることも踏まえ、下記の基準に基づき代表選手を選考する。

2. 競技期間：2014年9月19日～9月26日

3. 派遣種目及び派遣人数

男子フルーレ4名、男子エペ3名、男子サーブル3名
女子フルーレ3名、女子エペ3名、女子サーブル3名 計19名

4. 選考について

1) 選考対象選手

国内ランキング上位者及び強化本部会が推薦する選手の中から強化拠点練習（味の素ナショナルトレーニングセンター）を経て各カテゴリーの国際大会に出場し、今後国際大会で活躍が期待される選手とする。

2) 選考基準（全種目共通）

①「総合能力に基づく選考方法」により選考する。

【総合能力に基づく選考方法】

(1) 基礎的運動能力（ハイスタンダード）

(2) 競技パフォーマンス (体力要素、技術要素、心理要素)

(3) 団体戦での戦略理解、実行力

(4) ターゲット競技会 (2020年東京オリンピック) における活躍の可能性

※これらの事項に基づき、総合能力をコーチが検討し、派遣選手を選考する。

②上記①②の基準に達していても、競技会時に影響を及ぼすスポーツ傷害がある場合は選考しない。

④選手選考日：平成26年5月30日

以上